

有明台小学校区コミュニティ協議会
〈第2回〉

これからの地域活動を考える勉強会

～第1回勉強会のふりかえり～

令和3年2月19日（金）14：00～16：00／有明台小学校

第1回勉強会～解説のふりかえり

課題の生まれる背景

人口減少・超高齢社会

価値観やニーズの多様化

経済・財政縮小

気候変動

感染症



この先は…

これまで行政サービスだった暮らしの支援が縮小したりできなくなる
地域のことは自分たちで行うほうがニーズに応えやすくスピードも速い

地域で行う活動はこれからますます必要かつ重要になる

でも…

地域を支える、地域を受け継ぐ
活動に携わる人が少ない

暮らしに関わる情報も
行き渡らない

**活動に参加する人を増やすには
少ない人数でも負担なく必要な活動を行うには**

かけている
時間や人数は？

**いま行っている活動や実施体制を
明らかにして、見直してみよう**

内容・
やり方は？

手の打ちどころを見つける

- ★やり方を改善して負担を減らしたり参加しやすくする
(役割や作業の分担、活動の組み合わせ、情報伝達の改善など)
- ★良いことは伸ばす
- ★住民に求められる活動を行う
- ★参加したくなる楽しさを生み出す
- ★選択と集中 (どこに力を入れるか)

第1回勉強会～意見交換の内容まとめ

- 若い人たちは仕事などで多忙だが、どうしたら担い手になってもらえるか。
- リタイア後の男性も巻き込みたい。



関わりやすさを考えては。

- 活動に携わる人の顔ぶれが変わらず高齢化が進んでいる。人手が足りない。

- 良い活動もあり、工夫もみられる。自発的にやってくれる人もいる。



参加する人の事情に応えることも大切では。

- 顔の見える関係づくりは難しいが大切だ。



* 「地域力」を上げることを1つ1つやる。
* 声かけや交流
* 情報伝達や収集でSNS（LINE）利用

- 地域活動に無関心の人が多いのではないか。

- 地域で大切なものが将来引き継がれるのか不安。

○高齢者の支援や空き家、除雪、商店、環境など将来の心配もある。

○地域住民の困りごとなど状況がよくわからない地域もある。



聞き取りに出向いて、有志で助け合ってはどうか。

○コミ協の活動や役割がよくわからない。地域住民にも知られていない。

○活動が多いのではないか。



*コミ協と町内会の事業の整理が必要。
*議論の場が必要。

○自治会長の負担が大きい。

○市役所からコミ協、自治会へと仕事が降りてくるイメージがある。

○わからないこともあるが、勉強になったり一定の役割は果たしている。

○課題への対応や活動の見直しはどのようにやったらいいか。

【参考】自治会とコミ協の役割

新潟市のホームページより転記

自治会・町内会は、日常生活でのさまざまな問題について近所の皆様で共に考え解決し、よりよい地域社会をつくっていくため任意組織です。私たち市民ひとりひとりに、もっとも身近な住民組織とも言えます。

名称	自治会・町内会	地域コミュニティ協議会
範囲	いわゆる「隣近所」 100世帯～500世帯、人口2,000人程度の規模	概ね小学校区ごとに結成 500世帯～2,000世帯、人口1万人程度の規模
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 日常的にあいさつする、顔や名前が覚えられる関係・ 清掃や葬祭、防火、防犯、防災など、日常生活で助け合い協力し合う活動がある	<ul style="list-style-type: none">・ 歩いて往来できる範囲の、顔が見える関係・ 幼稚園・保育園や小・中学校など、PTAに代表されるような子どもを介した交流がある・ 複数の自治会等や団体にまたがる活動・交流がある
代表的な活動例	<ul style="list-style-type: none">・ 生活情報の回覧、配布・ 婦人会、こども会、老人会などの運営・ 防犯灯の維持管理・ ごみステーションの管理、側溝清掃などの地域美化・ 納涼会、新年会などの親睦行事	<ul style="list-style-type: none">・ コミュニティ誌の発行・ 各団体間の連絡調整、ネットワーク活動・ 防犯見回りパトロールの組織・運営・ 通学路の一斉清掃、河川・水路の整美・ スポーツ大会、地区運動会、地域文化祭などの開催

自治会

より日常生活に密着し、より身近な課題に精通する自治会等

コミ協

より広域的で各団体の自主性を尊重しつつ、団体間相互の補完や地域の横のつながりを重視するコミ協

大まかに
言うと